

【ことわざ②】 友達ともだちと言いい合あいをしておぼえましょう。

おぼえたら○をぬりましょう。

- 火ひのないところに煙けむりは立たたぬ ○どんぐりの背せいくらべ
- 鶴つるの一ひと声こえ ○二さんど度あることは三さんど度ある ○善ぜんは急いそげ
- 義ぎをみてせざるは勇ゆうなきなり ○論ろんより証しょうこ拠
- 歳さい月げつ人ひとを待またず ○沈しずむ瀬せあれば浮うかぶ瀬せあり
- 名なをすてて実じつを取とる ○冬ふゆき来はるたりなば春とほ遠とほからじ
- 玉たま みがかざれば光ひかりなし ○魚うおごころ心みずごころあれば水みずごころ心
- 和わをもつて貴たつとしとなす ○学がくもん問おに王おう道どうなし
- 縁えんの下したの力ちから持もち ○郷ごうに入いっては郷ごうに從したがえ
- 目めは口くちほどに物いを言いう ○七なな転ころび八や起おき
- 人ひとは見みかけによらぬもの ○古ふるきをたずねて新あたしきを知しる
- 習ならうより慣なれる ○山さん椒しょうは小こ粒つぶでもかららと辛からい
- 正しょう直じきは一いっ生しょうの宝たから ○聞きくは一いっ時ときの恥はじ ○聞きかぬは一いっ生しょうの恥はじ
- 腹はら八はち分ぶん目めに医い者しゃいらす ○けんか両りょう成せい敗ばい
- 下へ手たな鉄てつ砲ぱう数かず撃うてば当あたる ○人ひとの口くちに戸とは立たてられぬ
- 柳やなぎの下したにいつもどじょうはいない ○せいては事ことを仕し損そんじる
- 青あおは藍あいより出いでて藍あいより青あおし ○雨あまだれ石いしをうがつ
- 彼かれを知しり己おのれを知しれば百ひゃく戦せんあやうからす

まいしゅう すい きん ひるやす こうちょうしつ
毎週 (水) と (金) の昼休み、校長室で

こい ひと しょう ぷれぜんと
10個言えた人には、「がんばったで賞」をプレゼント!